

誠実、優しさ、安全をもって信頼される病院

急性期から在宅まで

水島中央病院 新棟

2026年1月稼働



社会医療法人 水和会
水島中央病院

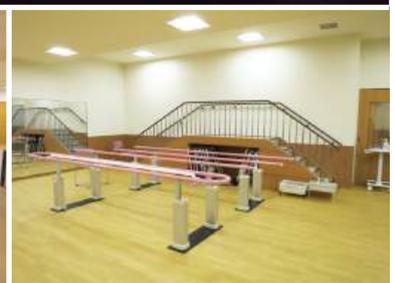


新病棟開設の目指すところ

日本中が発熱に戦々恐々としていたコロナ禍が明け、これからの地域医療をどのように進めていくかを考えた時、2040年に向けた人口構造の変化を考えざるを得ませんでした。日本中で少子高齢化がさらに進み、高齢者増加と若い労働人口の減少がこの水島中央病院の医療提供体制にも大きく影響を及ぼしてきます。

国が勧める地域包括ケアシステムが進化していく中で地域包括ケア病棟46床を新たに稼働することで急性期一般病棟(本館4・5階)+**新**地域包括ケア病棟(本館6階)+回復期リハビリテーション病棟(B棟2階)の3つの機能で地域の医療ニーズに最大限対応できる体制を整えることができました。さらに通院困難な高齢者や看取りが必要な患者さんに対応できる訪問診療にも取り組んでいくことで、より在宅に向けた退院を勧めやすくなります。新たな地域医療構想の中で専門性を生かした急性期診療から在宅に向けて治し支える総合的な医療提供ができる水島中央病院で、地域の皆様の信頼を得ることと、地域医療に取り組みたい職員が一人でも増えることを目指して新病棟が稼働します。

2025年12月
病院長 松尾 龍一



新棟開設によってどう変わる？

当院は開院以来、水島地区をはじめ、児島・玉島・浅口郡・倉敷と幅広いエリアの救急医療を担っています。今後高齢者の疾患（誤嚥性肺炎、大腿骨骨折、心不全、尿路感染症等）が増加していく中で、急性期治療を終えた患者や在宅（自宅・施設含む）患者の入院受け入れをより強化するため、地域包括ケア病棟を立ち上げました。病院の機能を拡張した、新たな水島中央病院をご紹介します。

新機能

1

地域包括ケア病棟の開設

本館6階に、新たに地域包括ケア病棟46床（同一法人内の倉敷リハビリテーション病院から病床移設）を開設します。

新機能

2

感染対応診察室の設置

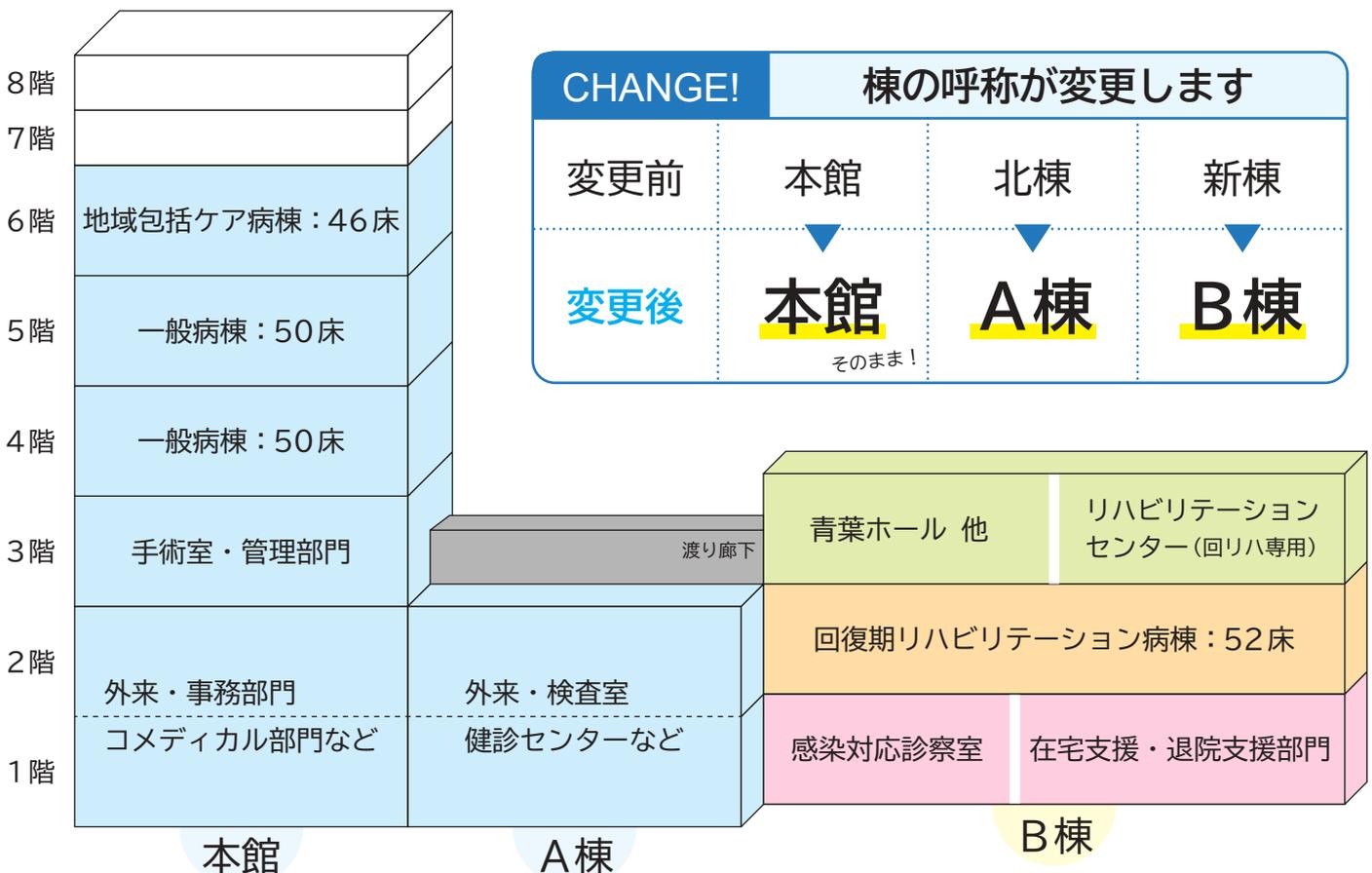
新型コロナウイルス流行と同様の新興感染症に対応できる診察室を3室設置しました。一般患者と発熱患者の分離、陰圧室での診察による感染対策を行っています。

新機能

3

在宅支援・退院支援部門の設置

訪問診療及び自宅や施設への退院支援を充実させるため、在宅支援部門及び退院支援看護師、医療ソーシャルワーカーが常駐する退院支援部門が設置されます。



一般病棟

病気や怪我の急性期（症状が急激に現れて不安定な時期）に、集中的な治療や検査を行う病棟

地域包括ケア病棟

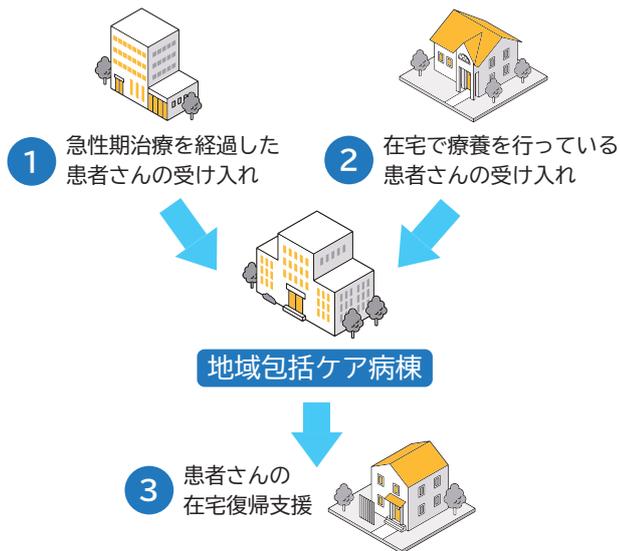
急性期治療を終えて病状が安定したあと、すぐには在宅や施設に退院できない患者さんを対象に、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーション、生活支援などを行う病棟

回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や骨折などで急性期を脱した患者さんが、家庭や社会に復帰するために、医師、看護師、セラピスト、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど多職種チームが連携し集中的なリハビリテーションを行う病棟

地域包括ケア病棟の開設

「地域包括ケア病床」が『地域包括ケア病棟』になりました。地域包括ケア病棟の役割として、①急性期治療を経過した患者さんの受け入れ、②在宅で療養を行っている患者さんの受け入れ、③患者さんの在宅復帰支援等の機能があります。自宅や施設への退院に向けて、リハビリ、栄養、口腔ケア等多職種協働で支援を行います。また入院の紹介受け入れや在宅復帰に向けた逆紹介等、近隣の施設、診療所、訪問診療との連携も図っていきます。



対象となる患者さん

急性期治療後、引き続きリハビリやケアが必要な方

自宅や施設等で体調が悪くなり、入院療養が必要な方

レスパイト（在宅療養患者さんを介護している方が一時的な介護困難時での短期的な入院）

感染対応診察室の設置

感染拡大を最小限に抑えながら十分な医療を提供できるよう、B棟1階に新たに感染対応診察室を3室設置しました。



外に直結したドアを設置しているため、新興感染症流行時には一般の患者さんと接触することなく診察が行えます。内科外来とも直結しており、平時は、発熱症状を伴う患者さんの診察を迅速に行うための体制を整えています。

本館北側駐車場に面しているドアは、新興感染症流行時に利用する専用の出入り口となります。

在宅支援・退院支援部門の設置



新たに設置された、患者さんの退院後の生活を支える部門です。当部門では医師や看護師、医療ソーシャルワーカーなど多職種が連携し、患者さんご家族の意向を尊重しながら、必要な情報やサービスの提供、その他支援を行っていきます。



在宅支援部門

在宅での診療を希望される患者さんに対し、医師が計画的にご自宅を訪問し、診療・検査・投薬等行います。定期訪問中の患者さんの急変など緊急時にはいつでも対応できる体制を整えています。

訪問診療で 可能な処置や 管理

- ・ がんの在宅緩和ケア、麻薬を含めた疼痛管理
- ・ ご自宅での看取り
- ・ 中心静脈栄養、経鼻経管栄養・胃ろうなどの栄養管理
- ・ 褥瘡(床ずれ)の治療
- ・ 在宅酸素療法
- ・ 腹水穿刺、胸水穿刺
- ・ 心不全、呼吸器疾患の在宅管理
- ・ 認知症、精神疾患の在宅治療
- ・ 気管切開後の気管カニューレ管理
- ・ 人工肛門の管理

スタッフ構成

- ・ 医師
 - どい ゆうき 土井 雄喜 (総合診療科 医長)
 - むらかみ よしひろ 村上 佳弘 (総合診療科 医員)
 - まつお りゅういち 松尾 龍一 (内科医師)
 - おかだ とみろう 岡田 富朗 (外科医師)
- ・ 看護部 在宅支援担当看護師



退院支援部門

患者さんやご家族のお話を伺い、入院中及び退院後も安心して生活が送れるよう、退院支援看護師と医療ソーシャルワーカーが支援します。各医療機関や福祉施設と連携し、患者さんに合った退院支援を行っています。

スタッフ構成

- ・ 看護部 退院支援担当看護師
- ・ 医療ソーシャルワーカー
- ・ 事務部門



新

B棟 フロア マップ

DATA

延べ床面積

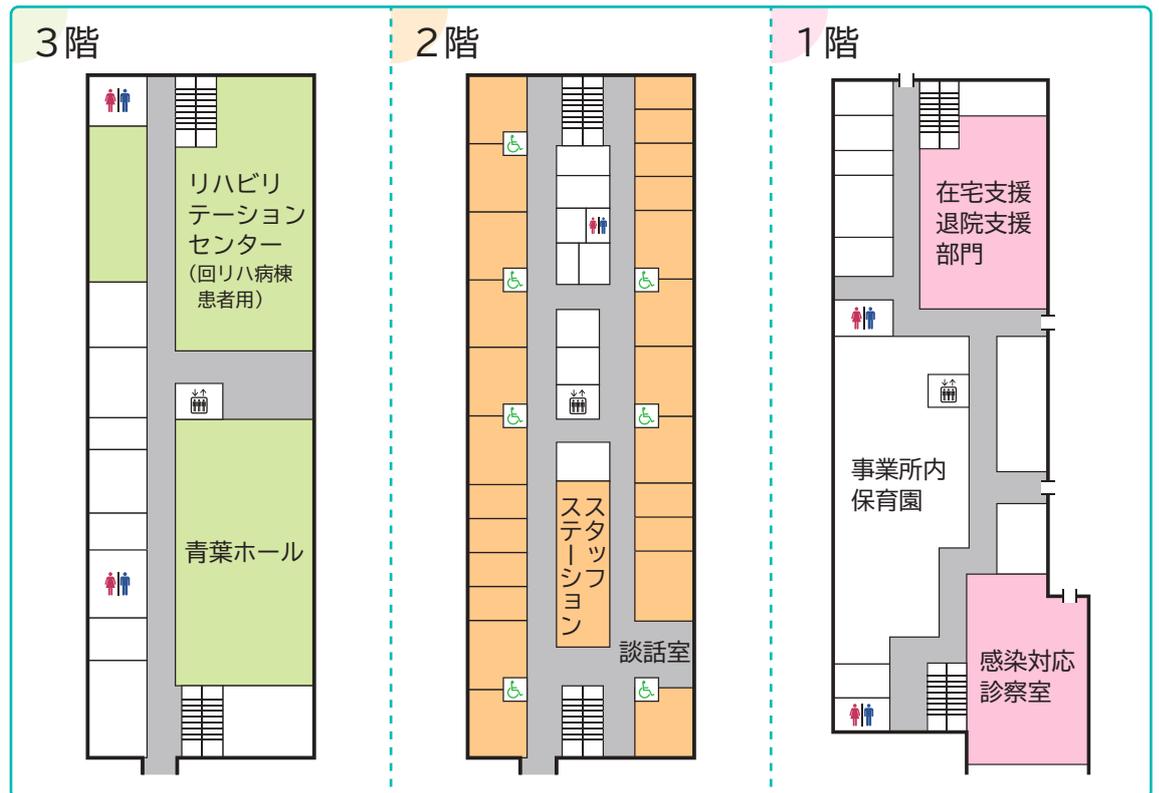
3,666.33㎡

建物の構造

鉄骨造、地上3階

- 2024年3月
建築工事開始
- 2025年10月
新棟竣工
- 2026年1月
新棟稼働

温かみを持つ木目を基調とした内装になっており、2階・3階の外壁にはサンシェードを設け、外からの視界を遮ることができます。



B棟 3階



健康講座や外部講師を招聘した講演会、職員向けの研修を行う多目的ホールです。



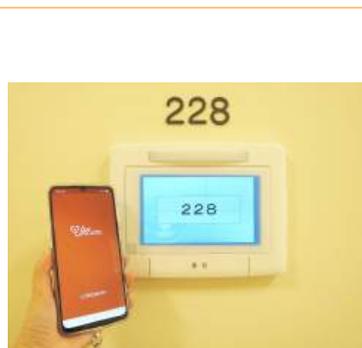
回リハ病棟のすぐ上の階に設置することで、患者さんはスムーズに移動することができ、集中的にリハビリが行えます。日常生活動作のための機能回復に向け、自宅を想定した部屋を設置しています。

B棟 2階

回復期リハビリテーション病棟 (略称：回リハ病棟) 52床



本館6階より移設した回リハ病棟(52床)は、リハビリテーション科専門医により医療管理が行われ、多職種が連携しチーム医療を提供します。



新たに導入した院内スマートフォンとナースコールを連携させ、対応を迅速に行います。

本館・A棟改築部の紹介

本館1階

外科系診察室 増設



処置スペースを拡張しました。新たに診察室も設置し、整形外科の診療や全身麻酔患者の手術前診察なども行っています。

本館2階

小児神経診察室 増設

(診療・発達支援・言語リハ)



子どもの発達診療を行う診察室を新たに設置しました。小児神経科専門医・こども発達サポーター・言語聴覚士による相談体制を整えています。

本館1階

MRI装置 更新



MRI装置を更新しました。Vantage Fortia n1 .5テスラを導入しました。

本館2階

リハビリテーションセンター 増室



B棟3階の回り八病棟専用リハビリセンターに加え、本館2階のリハビリセンターを「外来リハビリテーションセンター（写真左）」「入院リハビリテーションセンター（写真右）」に分け、リハビリ診療の充実化を図りました。

本館3階

手術室 増室



手術室を4室から5室へ増設。新たな手術室は2026年1月稼働予定です。

A棟2階

検査部門 移設



本館2階の検査室がA棟2階に移設しました。超音波検査室が2室に増えたことで外来、入院、健診エコーを並列で行えるようになりました。新機能として脂肪肝、肝線維化の評価も可能となりました。



採血コーナー



超音波検査室(2室)



心電図検査室



脳波検査室

交通アクセス

周辺マップ



- 車でお越しの方 瀬戸中央自動車道「早島IC」から約20分
倉敷市街から車で約20分
- タクシーでお越しの方 倉敷駅より約20分
- 水島臨海鉄道でお越しの方 倉敷市駅から常盤駅(約20分)下車後、西へ徒歩約10分
- 駐車場について 自動車で来院の方は無料駐車場があります

マスコット キャラクター



水島中央病院
オリジナルキャラクター
みっちゅう

職員から作品を募集し、2回に渡る職員投票を経て、2025年度に当院のマスコットキャラクターとして誕生しました。当院が「水中(みずちゅう)」と省略されて呼ばれていることから「ちゅう→ねずみ」をモチーフにデザインされています。

誕生日 6月1日 性別 女の子

性格 癒し系、ほんわか、おっとり

チャームポイント しっぽのM、耳



社会医療法人 水和会
水島中央病院

〒712-8064 岡山県倉敷市水島青葉町4番5号
TEL: 086-444-3311(代) FAX: 086-446-0993

水島中央病院
ホームページ



水島中央病院
公式 Facebook



水島中央病院
公式 Instagram

